

# 神田川

## 歴史的な名所が点在

三鷹市の井の頭池を源とし、善福寺川、妙正寺川を合流したのち、JR水道橋駅付近で日本橋川を分派し、隅田川に注ぐ全長約25kmの一級河川です。その流域は13区2市からなり、区部を流れる中小河川の中では最大の流域面積があります。

神田川流域は、昭和20年代頃から急激に都市化が進み、流域の保水・遊水機能が著しく減少し、今まで多くの水害を被ってきました。そのため、分水路や調節池、地下調節池の整備を行っています。

- スタート  
JR山手線・西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」
- ゴール  
東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」

距離：約3.0km 歩数：約4,290歩  
所要時間：約45分  
消費カロリー：約135kcal

**1 神田川の魚道**  
魚道の様子

**2 面影橋から下流**  
広重が名所江戸百景に描いた当時は立派な太鼓橋で、その北側一帯には砂利の採取場があったとされている。「名所江戸百景 高田姿見のはし、俵の橋砂利場」歌川広重(国立国会図書館)

**3 神田川桜並木**  
高戸橋～江戸川橋の神田川沿いは春は桜の名所。河床下にみえるゴツゴツした岩盤のような遺跡は、関東平野の基盤をなしている上総層群が露出したもの。

**4 神田上水取水口**  
神田川から上水を江戸市中に導くための関口大洗埋跡。堰から取水された神田上水は、水戸藩上屋敷(現・小石川後楽園)を通り、神田川を懸樋で越え神田、日本橋方面へ給水されていた。

**5 肥後細川庭園**  
肥後細川家の下屋敷跡。江戸時代、目白台の南向きの斜面には、多くの大名屋敷が立ち並んでいた。

**6 小石川後楽園**  
水戸徳川家の上屋敷庭園跡。今でも園内には神田上水跡を見ることが出来る。

**7 神田上水懸樋跡碑**  
水道橋の下流で外濠に渡され、江戸市中へ給水した懸樋(水を渡す橋)跡。水道橋の由来となった。「東都名所お茶の水之図」歌川広重(国立国会図書館)

**8 お茶の水分水路(呑口)**  
お茶の水の展示が充実

**9 聖橋(ひじりばし)**  
昭和2年(1927)架橋。橋名は湯島聖堂と東京復活大聖堂(ニコライ堂)の2つの聖堂を結ぶことに由来する。

**10 お茶の水分水路(吐口)**  
お茶の水の展示が充実

**11 昌平橋**  
昌平橋から上流は、江戸時代初期に駿河台地を掘削して人工的に作られた溪谷だった。「名所江戸百景 昌平橋聖堂神田川」歌川広重(国立国会図書館)

**12 万世橋駅跡**  
中央線始発駅として明治45年(1912)に開業。廃駅後は交通博物館を経て現在は商業施設マーチエキュート神田万世橋として利用されている。

# 善福寺川

## 住宅地を縫う緑の散歩道

杉並区の善福寺池を源とし、杉並区内を蛇行し中野区との区境で神田川に流入する全長約11kmの河川です。

河川管理用通路や旧河川敷などを活用して緑道や広場の整備が行われており、特に和田堀公園や善福寺川緑地では、川沿いの通路や桜並木を公園と一体化させ、潤いのある水辺空間をつくりだしています。

- スタート  
JR中央線「中野駅」東京メトロ丸の内線「新高円寺駅」より「吉祥寺駅北口」行き「五日市街道営業所」下車
- ゴール  
東京メトロ丸の内線「方南町駅」

距離：約5.5km 歩数：約7,860歩  
所要時間：約1時間23分  
消費カロリー：約249kcal

**1 善福寺川緑地**  
南阿佐ヶ谷駅

**2 松ノ木遺跡、杉並区立郷土博物館**  
土器や整穴式住居跡が多数発見され、縄文～古墳時代を通じて大きな集落があったと考えられている。郷土博物館では縄文時代の土器等が展示されている。

**3 神田川・環状七号線地下調節池善福寺川取水施設**  
環状七号線の道路下に造られた延長4.5km、貯水量54万m<sup>3</sup>の地下トンネル式調節池。妙正寺川、神田川からも取水する。

**4 大宮八幡宮**  
1063年に奥州を平定した源頼朝が、京都の石清水八幡宮の分社として創建。かつては、多摩の大宮と呼ばれ、武蔵国三大宮の一つであった。弥生時代の遺跡も出土しており、大宮遺跡として都指定の史跡でもある。

**5 洪水時に活躍 和田堀第六調節池**  
普段は野球場だが、洪水時は貯水量4.8万トンの調節池として活躍する。写真は令和元年台風19号後の洪水貯留状況。

**6 平和の森公園**  
旧中野川事務所跡地で、下水道局中野水再生センターの上に整備された公園。300mトラックや多目的運動場、水辺の広場などがある。

**7 妙正寺川調節池群**  
妙正寺川第一、第二、上高田、落合調節池の4つの調節池がある。総貯留量は約34万m<sup>3</sup>。地上部は集合住宅や公園になっている。

# 妙正寺川

## 川沿いの公園めぐり

杉並区の妙正寺池を源とし、中野区北部を蛇行しながら流れ、江古田公園付近で江古田川を合流、西武新宿線下落合駅付近で高田馬場分水路に流入し、神田川に合流する全長約10kmの河川です。川沿いには妙正寺公園、平和の森公園、哲学堂公園(令和2年国指定名勝)等があります。

蛇行が著しく、古くから豪雨のたびに洪水を起こしていたため、昭和33年(1958)の狩野川台風による被害を機に本格的な改修をすすめてきました。集合住宅や公園と一緒に多目的調節池や公園等の地下を利用した調節池群を整備し、水害の軽減を図っています。

- スタート  
西武新宿線「沼袋駅」
  - ゴール  
都営地下鉄大江戸線、西武新宿線「中井駅」
- 距離：約3.5km 歩数：約5,000歩  
所要時間：約53分  
消費カロリー：約159kcal

**1 沼袋水神社**  
御祭神はスサノノミコトで、正平年間(1346～1370年)に大宮の水川大社から分社した。太田道灌が神井城の豊嶋泰経を攻める際、陣を敷いたと伝わっている。

**2 哲学堂公園**  
東洋大学の創設者である井上円了が明治37年(1904)に創設した庭園。園内には哲学に由来する建築物や碑などが点在する。令和2年3月国名勝に指定された。

**3 江古田公園**  
文明9年(1477)に太田道灌と豊嶋泰経が争った場所。江古田ヶ原・沼袋古戦場の碑がある。太田道灌は江戸城を築城したことでも有名。

**4 平和の森公園**  
旧中野川事務所跡地で、下水道局中野水再生センターの上に整備された公園。300mトラックや多目的運動場、水辺の広場などがある。

**5 妙正寺川調節池群**  
妙正寺川第一、第二、上高田、落合調節池の4つの調節池がある。総貯留量は約34万m<sup>3</sup>。地上部は集合住宅や公園になっている。